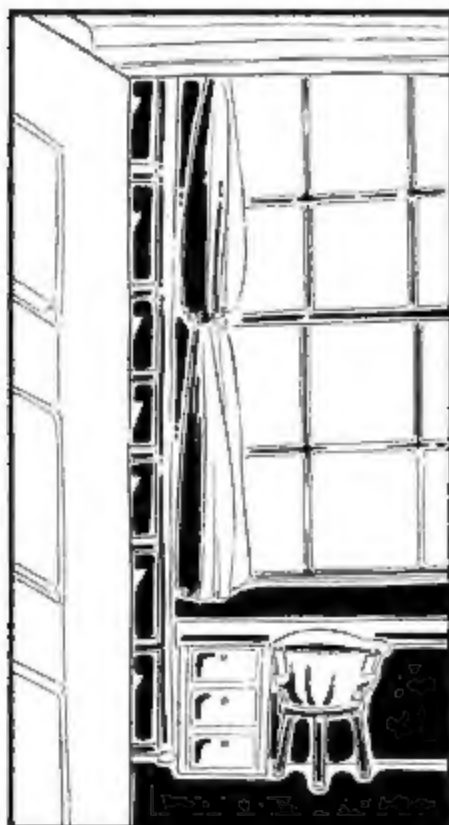
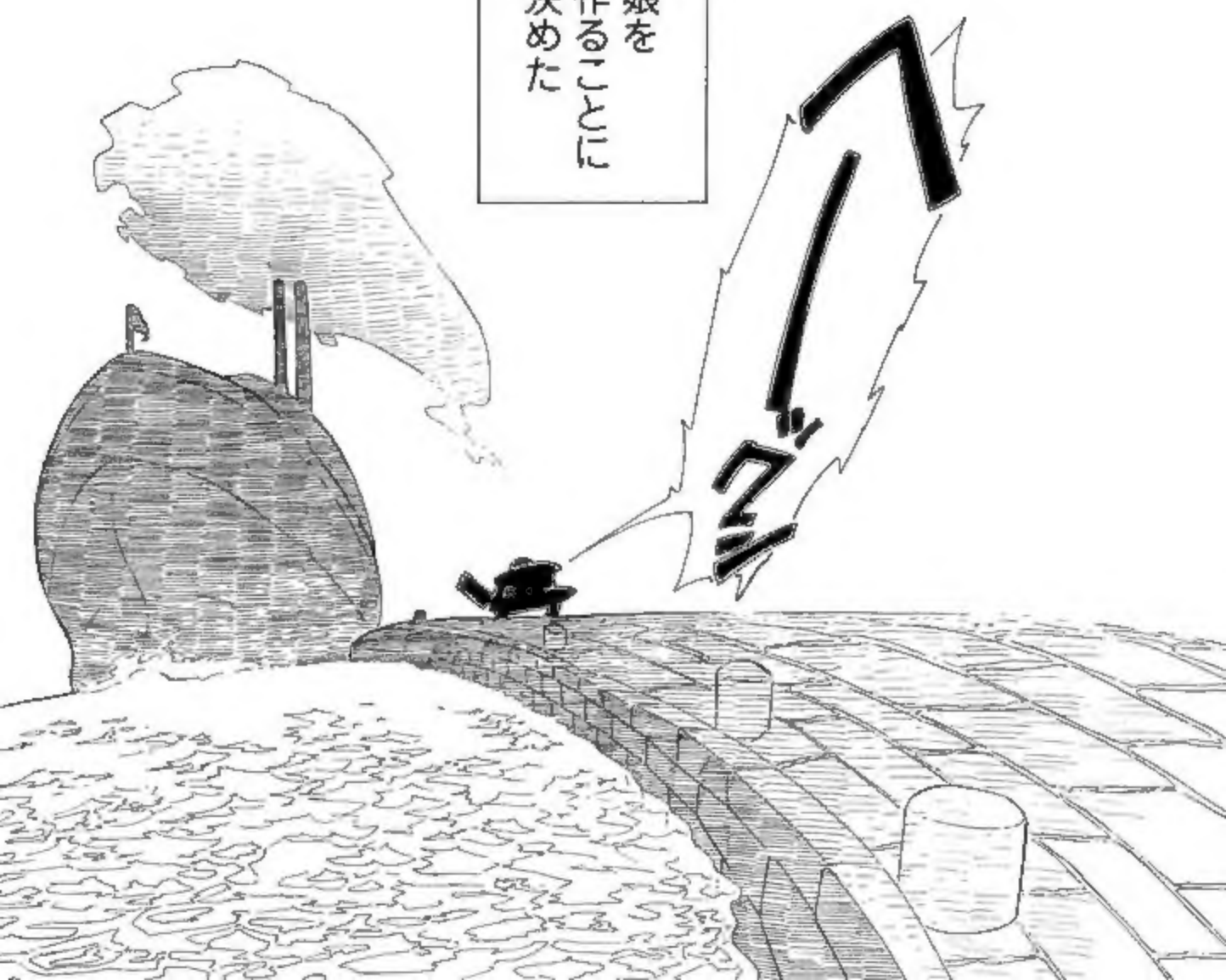
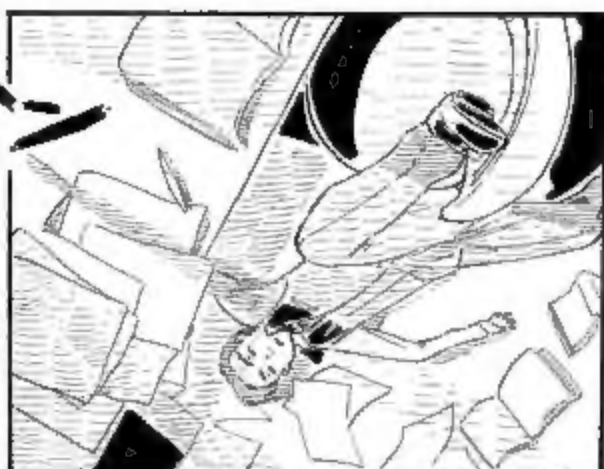
紙
手
第9回スーパーキャラクターコミック大賞 優秀賞受賞
父と娘。
夫と妻。
10年分のすれちがい。
祖国の娘から
毎週
7日分の
手紙が届く
未来のスターデビュー！
かくたすず
それは
10年続き
途絶えた

次に届いたのは
娘の
訃報
私は

娘を作ることに決めた

ガシャーン
…あれ
昨日起動させたのは…
おはようございます、ハゲ。
夢じゃなかったふみ子！父さんだよ
じじい。
まだ半分しか手紙をインプットしてないが
一応動けるようだね

はっ
ずざっ
そう…
…早速だが
もし わかるなら
教えてほしい
最後の手紙にあるきみの「お願い」って
いったい なんだい？
まだ だめか…
キュル…

わっ…失礼！
えーと どなたでしょう
か………
久しぶりね
あなた

こちらに帰っていらしたのね
ああ
その体質相変わらずなんですね
人間アレルギー
それ以上近づ
ぴしッ
ところでなにか用が
そのまえに
この方どなた?
ギーコ
ギーコ
そうだったわからないかい?

ふみ子だよ
もうすぐ完成するんだ
アホンダラ！
ふみ子は僕に10年にわたって3000通余りの手紙をくれた
内容・筆跡のほか
得られうるデータすべてからふみ子の知能を再現した

長年 研究してきた 人口知能の技術が 大いに役立ったわけだ
ふみ子
母さんだよ
かさじぞう、
お――い。
年を、とるのは、大変。ですね。
ギュッ
今はまだ 手紙のなかの言葉しか 喋れないが
どんどん自動で 学習して
どうして

3000通も手紙をもらっておいて
10年間 一度も会いに来なかったの……
あれほど会いにきてって言ったのに
しかも今度は
はげ
娘を作るなんて罪滅ぼし?
あなたが いまさら父親らしくしても遅いんです

確かにこれは僕のエゴかもしれないが
きまうさむいですねあたま
ふみ子の最後の願いだけは聞いてやりたい

願い…？
……

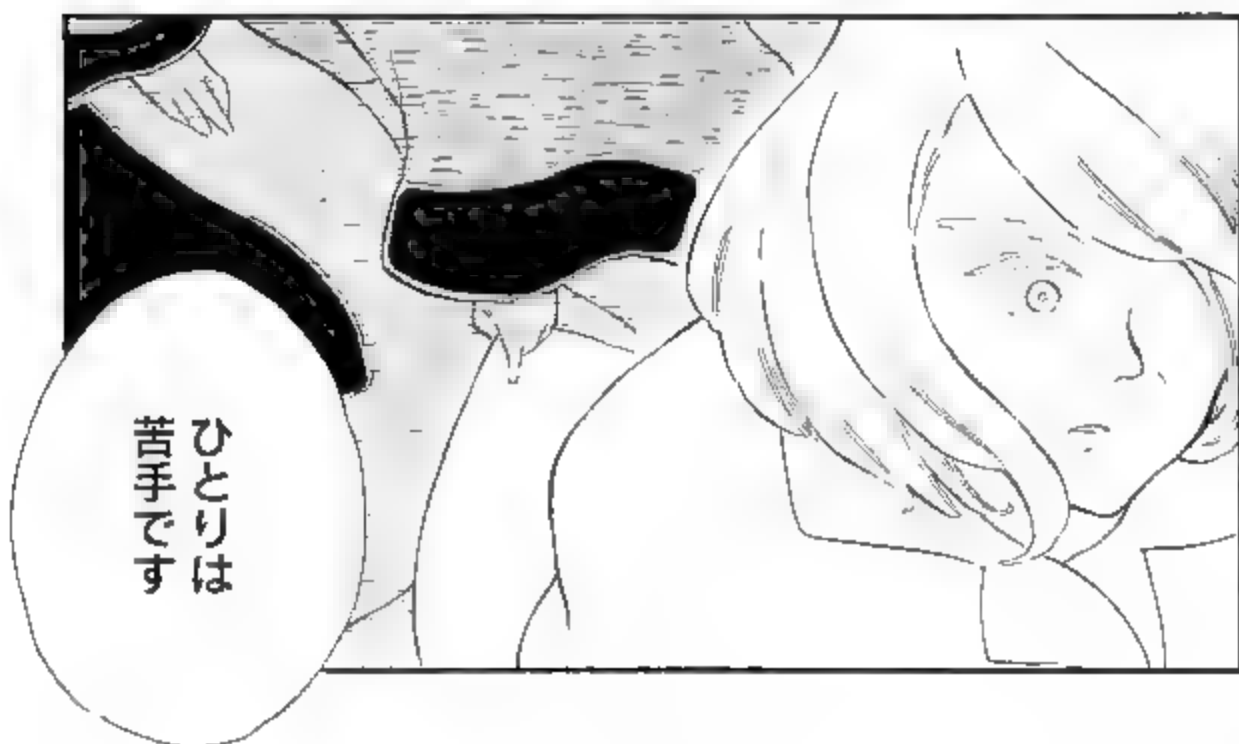
帰ります
コーヒーモカだけど

ご自分が苦手なコーヒーをわざわざどうも!!
苦手、です。

ひとりは苦手です

ふみ子…？
バタ
学習は順調だな
残りの手紙をインプットすれば
思い出すだろう
ふみ子の願い……

おかえり

ふみ子
おうちよ
お父さんも
いるわよー
ふしっ
幸い体質は
遺伝しなかったが
そろ～
おとー
へ？
ふみ

ふみ子の
近くにいても
なにもして
やれなかった

僕が
してやれた
ことなんて
―

へーっくし
ぶぇくしっ!!
ぶえくしっ!
へっくし!

やめなさい。
スコッ
やめなさい。
海外・・？

これがいちばん良いんだ

It's a letter for you

ふみ子より

Why don't you sometimes go home?

sorry!
いや ありがとう

カタカタ
カタカタ
行ったところで なにもしてやれない
でも次の論文で成果を出せば 手術の費用を送ってやれる
カタカタ
カタッ

とても簡単な問題だろう

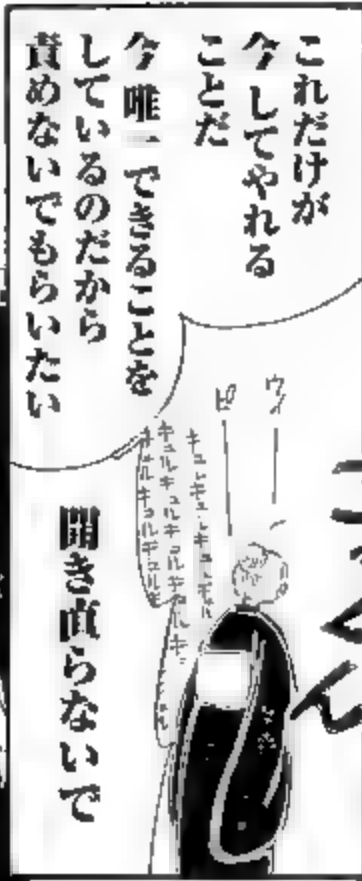
終わったよ ふみ子
ザッ
残りは あと少しだ
お願いは 思い出した かい
ガ
…ふみ子？
おりなさい
ガチャ
あなた今日は話――

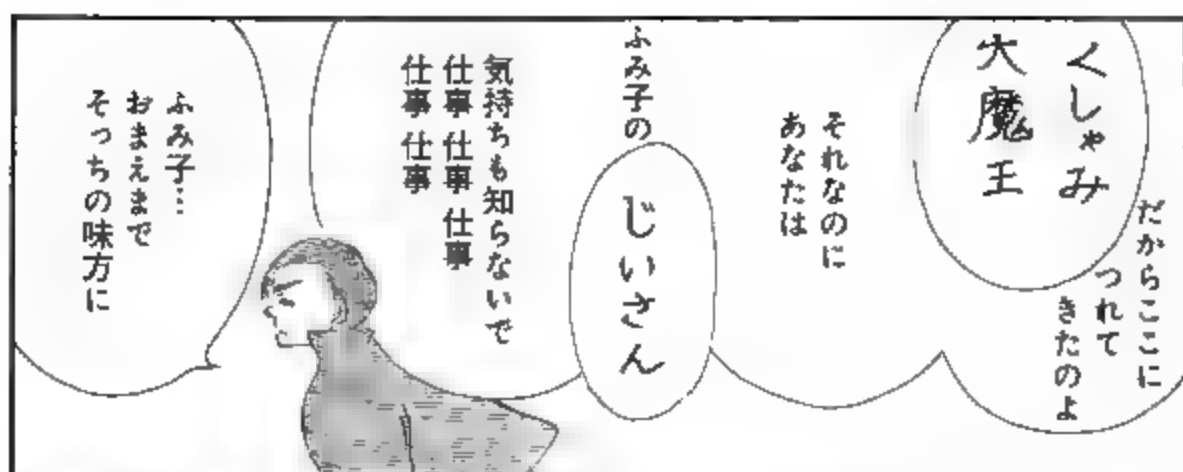
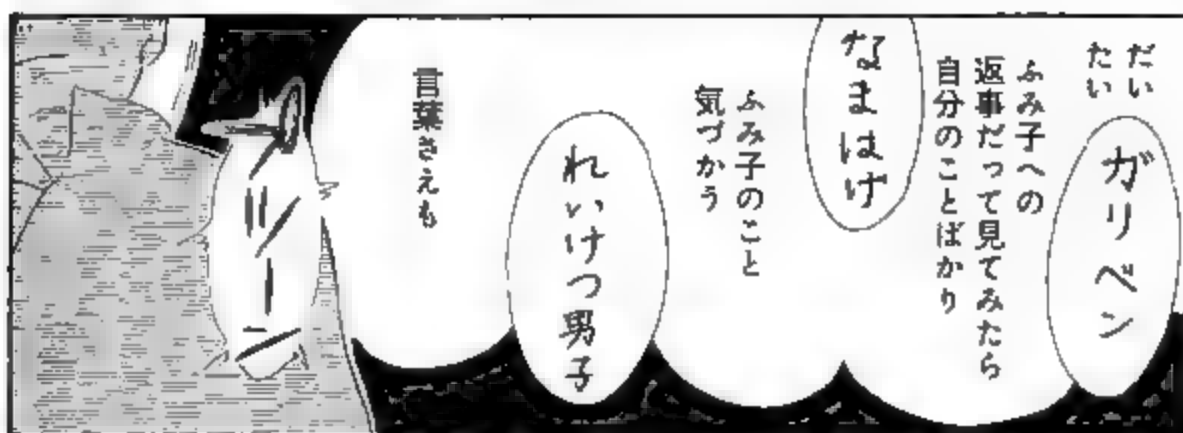
失礼…でも
無理なさらない
ほうが

少しくらい
無理するよ

娘が
いちばん大事
なんだから

今は
助けてやれる…
ハハハッ
さあ手を直そう
それ本気で言ってるの…
ぱくっ
ウィーーン
本当にそうなら
ふみ子に会いに帰ってきなさいよおおお
ぱくっ
ウィーーン
過ぎたことになにを言っても無意味だ
その言い方…！
ぱくっ
ウィーーン
ぱくっ
ウィーーン
ぱくっ
ウィーーン
ぱくっ
ウィーーン
ぱくっ
ウィーーン

ふみ子の残した手紙だけが希望なんだ
ふみ子の願いをきいて叶えてやる
これだけが今してやれることだ
今唯一できることをしているのだから責めないでもらいたい
ごっくん
開き直らないで
ゆらぁ
…ふみ子？
お…おい！

いったいどこへ
〒XXX XX
□□県○○都
△△△町▽
XX-X
ガタン
ゴトン
まあ3000回
読み込めば
わかるか
ガタン
ゴトン
家の住所
ガタン
ゴトン
よみ子は きっと
あなたに
帰ってきて
ほしかったんです

だいたい
ガリベン
ふみ子への返事だって見てみたら自分のことばかり
なまはけ
ふみ子のこと気づかう
れいけつ男子
言葉さえも

僕だって3人一緒に

普通の家族に
なりたかった
――ッ
でもこの体質で
家族まで犠牲に
なるなら――
30

あなた

キュルキュルキュルッ
そんなどうでもいいことを
気にしていたの…？

スコッ
ど・う・で・も

へっくし

普通じゃなくてもいいの

ふみ子…!?
ふみ子

いっしょに
なかよく
してて

僕はいちばん
大切なところを
間違えて

ふみ子
お願いって
いまの

心から
ふみ子のことを
思っていたなら
あの子も
怒りませんよ
私たち
3人は
家族
なんですから
帰ろう

そういえば
私の好きなコーヒーはモカじゃありません
えっ
おかしいなあ…
ん?

なに飛ばしたんだい…
なんでもありませんよ
「おわり」